

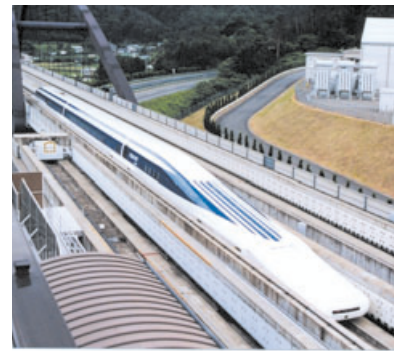
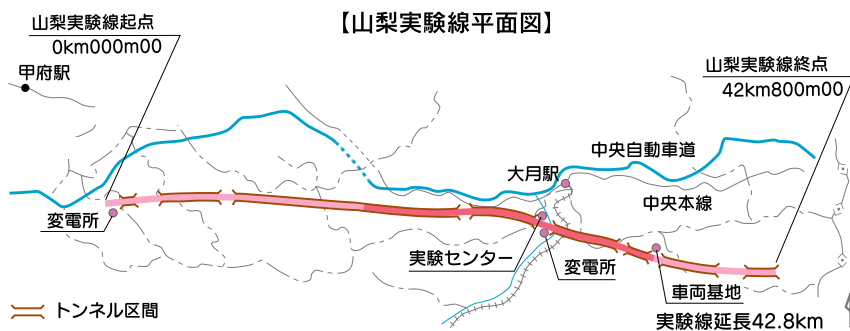
## 1.超電導磁気浮上式鉄道(超電導リニア)の開発

超電導磁気浮上式鉄道は、将来の超高速大量輸送システムとして期待されています。

### 開発目標

- ①高速性の目標: 営業最高速度500km/h(実験線最高速度550km/h以上)
- ②輸送能力・定時性の目標: ピーク時間当たり1万人程度(片道)
- ③経済性の目標: 採算性を踏まえたシステムの経済性を確立

山梨実験線において、実用化を目指した走行試験を行っています。



実験用新型車両

### ◆助成制度

名称	内容	17年度予算額 (単位:百万円)
鉄道技術開発費補助	技術開発費の一部を補助する。	823

## 2.軌間可変電車(フリーゲージトレイン)の開発

標準軌の新幹線と狭軌の在来線で直通運転を可能にするため、車輪の左右間隔を軌間に合わせて自動的に変換できる電車の開発を行っています。

### 導入の効果

- ①新幹線と在来線のように軌間の異なる路線間の乗換えがなくなるため、利便性の向上と所要時間の短縮を図ることが可能になります。
- ②既設の在来線の線路を改軌せずに導入可能であり、新幹線直通運転化に係る整備費用を低減できます。
- ③整備新幹線の段階的整備と併せ、乗換えなしで新幹線の速達性を享受できる地域を拡大することにより、高速鉄道ネットワークの構築に寄与します。



### ■フリーゲージの仕組み

